

棚田ふあむ

●活動目的 棚田を保全する沼地区の支援

●有田川町沼地区について
和歌山県中央部に位置し、「日本の棚田百選」に選定された「あらぎ島」をはじめとして、多くの棚田が点在している。急傾斜地の棚田が美しく、近年では「ぶどう山椒」の栽培も盛ん。課題は高齢化が進み、沼地区の人口割合はほとんどは高齢の方が占めていること。その為、棚田やぶどう山椒も現在はそなたたちが栽培可能でも、後継問題や自分たちで栽培ができるかという問題が深刻。特産品：ぶどう山椒、高原トマト、米



有田川沼地区LPP

●活動内容

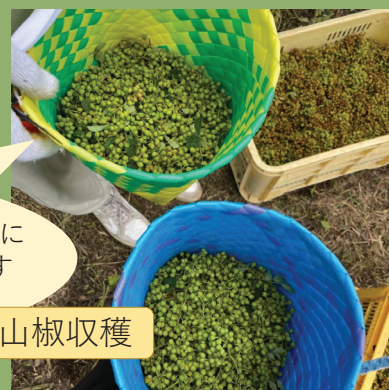


5月 田植え・草刈り

機械が使えない狭い場所であるため、手でひとつひとつ丁寧に植えていきます！

小さな山椒の実を取り残さないように丁寧に収穫！炎天下で1日中作業するのは大変ですが、とても達成感があります！

7月 山椒収穫



9月 稲刈り

沼地区の農家のみなさんが大切に育てて下さった5月に植えた稲を手作業で刈り取っていきます！

干しておいた稲を脱穀する機械で脱穀、殻を取り去り、精米機にかけて玄米から白米に！精米したてのお米は輝いて見えます🍴

10月 脱穀・精米



沼地区の農産物販売 inシエキノカワ

イベントに出店し、沼地区の農産物を販売！沼地区のパンフレットも同時に渡して、積極的に沼地区をPRしました！

シカやイノシシによる農業被害が深刻であるため、地区の外縁を獣害予防のための柵で囲んでいます。倒木や壊れているところがないかチェックし、直します！

その他の活動（獣害柵の点検・補強）



「ふあむからのあのね」の作成

活動報告として地域の方々に渡しているニュースレターで、毎回の活動後に学生の感想や発見をまとめて、地域の方に発信！地域の方々が楽しみにして下さっているのが励みです(***)

●今年度の総評

コロナが落ち着き、例年に比べて現地での活動を行うことができた。そのおかげで実際に自分たちで体験することができ、普段の生活では気づけないことにも気づくことができ貴重な体験をさせていただいた。また、地域の方々と直接お話をしたり、教えていただいたりする機会も多く、地域の方々との交流も深めることができた。

●来年度に向けて

- ①調査活動の強化 沼地区の住民へのヒアリング調査を行い、このプロジェクトへの新たなニーズを掘り起こす
- ②沼地区をより多くの人に知ってもらう活動を行う
沼地区は高齢化が進んでいるため、将来的に広大な棚田を守り切れないのではないかと危惧している。そのため、沼地区の魅力を多くの人に伝えることで移住者や協力者を呼び込む必要があるのではないかと考える。